

# \*\*\* 今日の健康(12月) \*\*\*

## 突発性発疹

突発性発疹はヒトヘルペスウイルス6型というウイルスが原因です。ヒトヘルペスウイルス7型というウイルスも突発性発疹と同様の症状をおこすことがあります、このため突発性発疹に2回かかったという子もよく見受けられます。

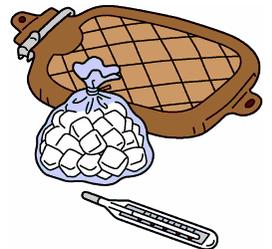
感染経路は確定されていませんが、母親からもらった移行抗体が子供から消失する生後6から12ヶ月ころに最も多く見受けられ、この時期に母親から感染すると考えられています。ヒトヘルペスウイルスは人に寄生しており、体調が悪いときに出現しますが、健康状態の時は発現が押さえられています。子供どうしでうつることは稀です。ほとんどの子供が1歳過ぎまでにはかかってしまうポピュラーな病気です。

### <症状>

突然38~40の熱を出して2~4日間続きます。咳や鼻水はなく、下痢などの胃腸症状が発疹に先行して見られることが多く、高熱のわりに機嫌が良いのが特徴です。熱が下がった日か次の日に全身に発疹が出てはじめて診断がつきます。発疹は2日位で消えてあとは残りません。かゆみもありません。合併症として、高熱のため熱性けいれんや脱水症をおこすことが比較的多いです。

### <治療>

特別な治療はありません。高熱が続きますが機嫌が悪くなければ大丈夫です。水枕や脇の下を冷やすなどの対応で十分なことが多いですが、必要に応じて熱冷ましや坐薬を使いながら様子を見るのが普通です。他の病気のことを考えて予防的に抗生物質を使う場合もありますが、診断がつけば合併症がない限り中止します。また、予防接種などの予防法はありません。



### <注意事項>

熱性けいれんを起こしたときは、あわてずに病院へ行きましょう。

高熱が続くので脱水症に注意し、水分を十分に補給しましょう。また下痢が少し長引くことがあります、これも脱水症などに注意して下さい。急に元気がなくなって、ぐったりした時は病院に行きましょう。

突発性発疹の後は一時的に免疫機能が低下しています。回復後1か月間は予防接種を受けないほうが良いでしょう。

その他は全く普段通りの生活で構いません。発疹がまだ消えていなくても熱がなくて元気があればお風呂に入れても構いません。

治りかけのときに機嫌が悪くなり何日間かぐずって仕方がないということがあるようですが自然に治ります。